

マクラー精子分析カウントチェンバー

【警告】

- ・器具を落としたり、他のもので叩くことのないようにすること。

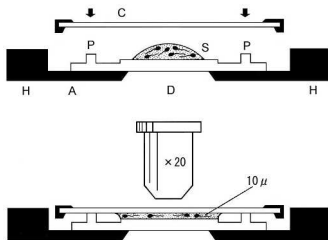
【禁忌・禁止】

- ・使用前にカバーガラス、基板中央ディスクの表面に汚れ、埃が全くないことを確認すること。
- ・顕微鏡の対物レンズは 40 倍のものは使用しないこと。20 倍の対物レンズ使用においても、カバーガラスに当たらないよう十分に注意すること。

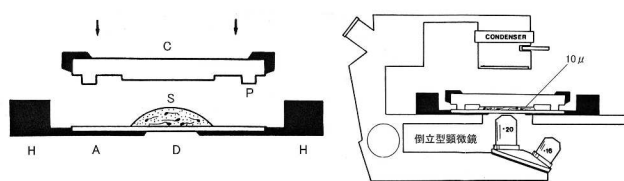
【形状・構造及び原理等】



■正立型顕微鏡用



■倒立型顕微鏡用



- A: 金属性基板
H: 握り
D: 検体(S)をのせる平面ディスク
P: 水晶コーティングピン(4 個) ※正立型顕微鏡用
C: 上部カバーガラス
P: 水晶コーティングピン(4 個) ※倒立型顕微鏡用

※正立型顕微鏡用は上部カバーガラス(C)に、倒立型顕微鏡用は平面ディスク(D)の中央に 0.1mm×0.1mm の目目が 100 個刻まれた格子がある。

【使用目的又は効果】

精液の希釈を行わず精子原液で精子数の迅速かつ正確な計測と運動性評価を直接行える精子分析器である。

*【使用方法等(用法・用量を含む)】

◎ 使用方法

《精子の分析》

- ① 検体精子原液を泡立たない様に注意しよく混和させ平面ディスクに 1 滴垂らす。
- ② カバーガラスを 4 個の水晶ピン上に置き、ニュートンリング現象(4 個の接触点に虹色の光)を確認する。
※ ニュートンリング現象の確認は自動的に 10 ミクロンの薄さに拡散にさせたことを意味します。
- ③ 顕微鏡の倍率は対物レンズ 20 倍、接眼レンズ 10 倍にセットする。
(対物レンズ 10 倍の場合は接眼レンズ 20 倍を推奨します。)

《運動性の評価》

9 升か、16 升内の全ての不動精子数をカウントし、さらに同升内の活動精子数をカウントして+1~+4 迄の運動性を評価する。

(注)運動性の評価は、精液を混和し平面ディスクへ垂らした後、数分内に行うこと。

《精子数のカウント》

- ① 精子原液の一部を別の試験管に移し、50~60℃の温水に 5 分ほど浸し不動化する。
 - ② よく混和しチェンバー上に 1 滴垂らし、カバーガラスをかけます。
 - ③ 升内にある精子の頭数をヘモシトメーターで血球を数える方法で数える。
- ※ 横 1 列(10 升分)の精子数をカウントした数値に 100 万掛けた数値が 1 cc 中の精子数となります。平均値を出すために、さらに数列をカウントして下さい。別の数滴を同様の方法でカウントすれば、判定の確実性を上げることができます。オリゴスペミア(乏精子症)の場合は、グリッド内全升目分の精子をカウントするのが望ましいです。全升目分の精子をカウントした場合は、その数値に 10 万を掛けた数値が 1 cc 中の精子数となります。

◎ 洗浄と再使用準備

- ① ソフトブラシ・ブラシ等に水あるいは、防腐性の消毒液をつけ、カバーガラス・平面ディスクの両面を拭く。
- ② 残った水分を拭き取る。
- ③ 最後にレンズクリーニングペーパー等で表面を拭き完全に乾かす。水晶ピンの先端にはできるだけ触れないこと。

*【使用上の注意】

- ・顕微鏡の対物レンズは 40 倍のものを絶対に使用しないこと。
- ・20 倍の対物レンズ使用においてもカバーガラスに当たらないよう十分に気を付けること。
- ・水道水を流して本品を濯いだり、浸漬したりしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- ・高温、多湿、直射日光、水濡れを避け、常温、常湿で保管すること。
- ・滅菌済みのものを貯蔵・保管する際は、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管すること。

【製造業者又は製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

■ 製造販売業者

ケン・メディカル株式会社
〒661-0033 兵庫県尼崎市南武庫之荘 1 丁目 22-18
TEL : 06-4962-5060

■ 外国製造業者

業者名 : SEFI MEDICAL INSTRUMENTS LTD. (セフィメディカルインスツルメンツ社)
国 名 : イスラエル